

新潟県の地震概況 令和 7 年 (2025 年) 6 月

令和 7 年 7 月 8 日

新潟地方気象台

【6月の地震活動概況】

この期間、県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震はありませんでした。また、新潟県とその周辺（図 1）で発生した地震で、県内で震度 1 以上を観測した地震はありませんでした。

（「期間内に発生した主な地震」を参照）

【6月に新潟県周辺で発生した地震】

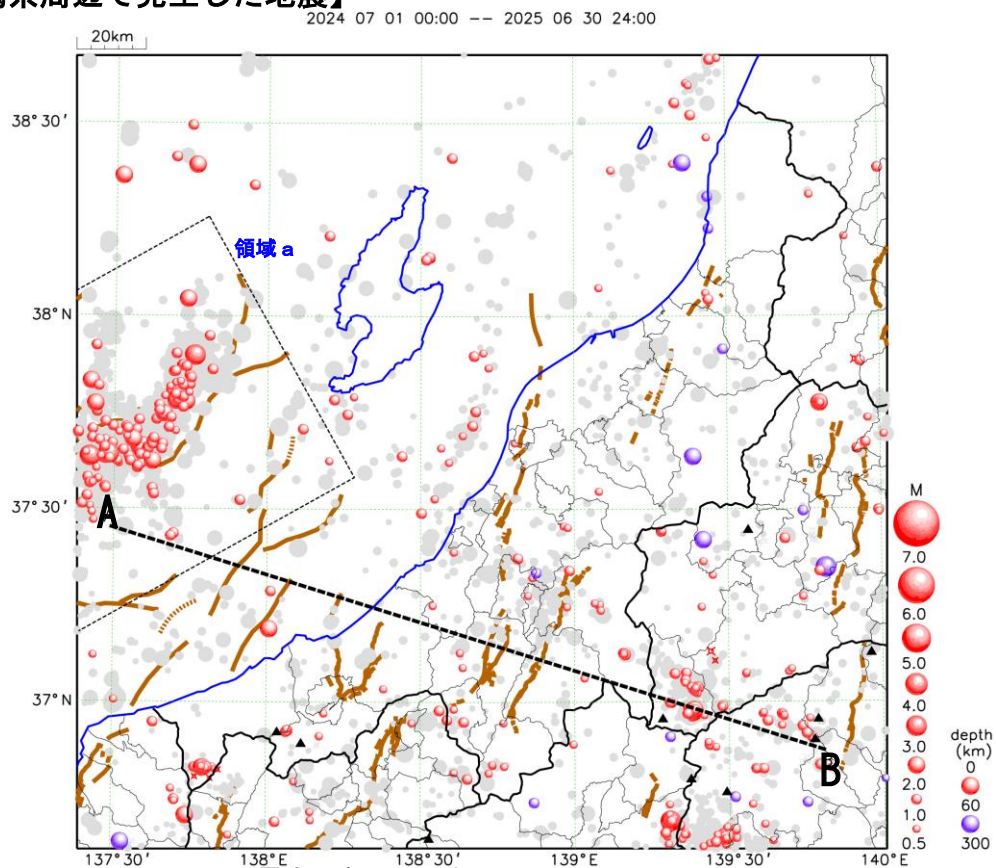


図 1 震央分布図（深さ0~300km、M0.5以上）

※過去 1 年間の地震を表示。令和 7 年 6 月に発生した地震を赤又は青、それ以前はグレーで示した。

※図中の茶色線は地震調査研究推進本部で長期評価されている活断層を示す。

※図中の▲は活火山を、✕は深部低周波地震を示す。

※領域 a は令和 6 年能登半島地震の活動域を示す。

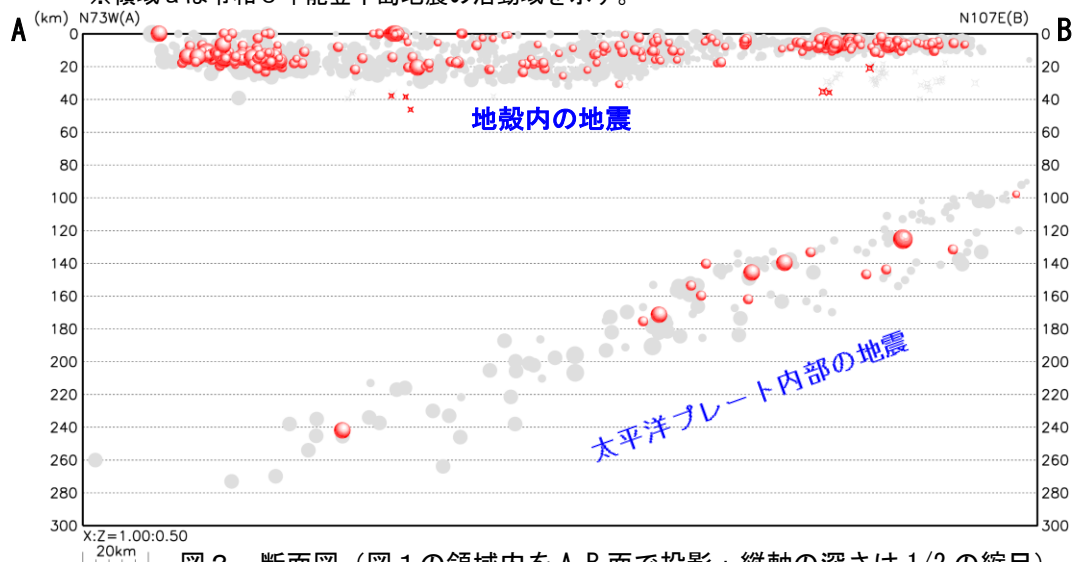


図 2 断面図（図 1 の領域内を A-B 面で投影：縦軸の深さは 1/2 の縮尺）

【期間内に発生した主な地震】

○ 県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震はありませんでした。

○令和 6 年能登半島地震

石川県能登地方では、2020年12月から地震活動が活発になっており、活動当初は比較的規模の小さな地震が継続する中、2024 年 1 月にM7.6の地震が発生しました。M7.6 の地震の活動域では、地震活動が低下してきているものの、依然として継続しています。

6 月中の最大規模の地震は、6 日13時48分に発生したM4.3の地震（最大震度 2）です。震度 1 以上を観測した地震は 7 回^{（注1）}で、その内、新潟県内で震度を観測した地震はありませんでした。

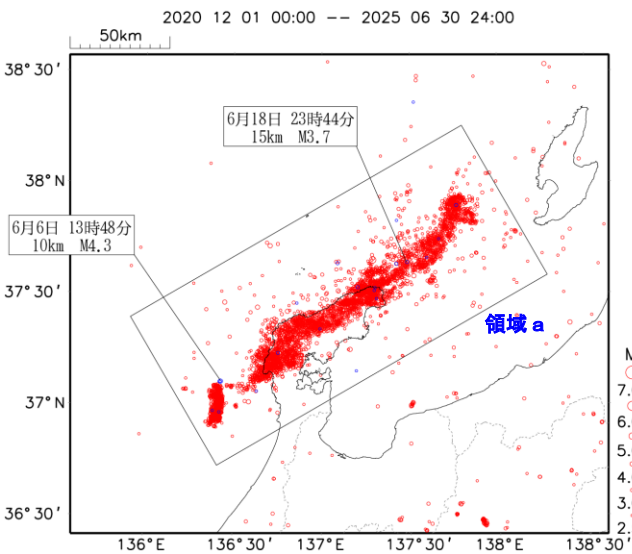


図 3 震央分布図（深さ 0～30km、M2.5 以上）

- ・図 3 の吹き出しは 2025 年 6 月に発生した、最大震度 3 以上の地震又は M3.5 以上の地震
- ・図 4 の左側縦軸はマグニチュード、右側縦軸は地震の積算回数
- ・2020 年 12 月～2025 年 5 月に発生した地震を赤色、2025 年 6 月を青色で示した

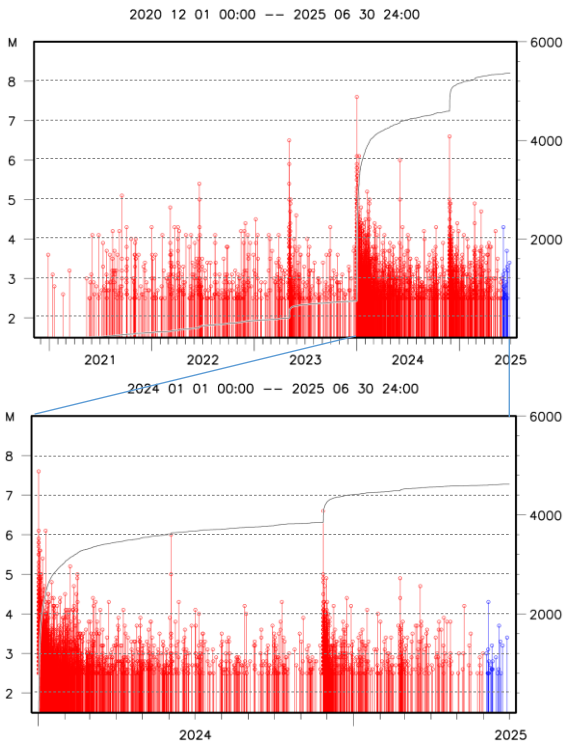


図 4 図 3 の領域 a 内の活動経過図及び回数積算図

注 1）震度 1 以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合があります。

【新潟県内で震度 1 以上を観測した地震】 期間 2025年 6 月 1 日～2025年 6 月30日

地震の発生日時（年/月/日/時:分）	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	全国最大震度
各地の震度 * は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点						
県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震はありませんでした。						

【震度分布図】

県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震はありませんでした。

【新潟県内で最大震度 1 以上を観測した月別・震度別地震回数表】

年	2024 年						2025 年						
月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	合計
震度 1	6	2	0	3	6	4	1	1	3	4	1	0	31
震度 2	0	1	0	0	0	0	1	1	0	3	1	0	7
震度 3	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	4
震度 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度 5 弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度 5 強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度 6 弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7	3	0	3	7	4	3	2	4	7	2	0	42

【過去の地震・津波災害から学ぶ】

- 2024 年は新潟地震から 60 年、新潟焼山火山災害から 50 年、平成 16 年 (2004 年) 新潟県中越地震から 20 年という、災害の発生から節目の年でした。県内に「防災・減災 新潟プロジェクト 2024」が立ち上がりました。 <https://www.hrr.mlit.go.jp/project2024/>

気象台ではこの活動に参加し、取組の一つとしてこれらの特設サイトを開設し、皆様にご利用いただいておりますが、プロジェクトが総括され気象台の取組も終了しました。

なお、作成しておりましたサイトは、引き続き皆様にご利用頂きたく、別途入口を設けました。

過去の大災害から学び、日頃から地震や津波、火山噴火への備えを心がけると共に、防災教育等にもご活用ください。

https://www.data.jma.go.jp/niigata/menu/2024project/2024project_link.html

【令和 6 年能登半島地震の各種資料】

- 令和 6 年能登半島地震の関連情報

関連報道発表等の地震関連情報の他に、被災地向けの気象支援資料なども掲載されています。

https://www.jma.go.jp/jma/menu/20240101_noto_jishin.html

令和 6 年 1 月 地震・火山月報 (防災編) に特集ページとして掲載されています。

<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/gaikyo/monthly/202401/202401index.html>

令和 6 年能登半島地震の地震活動と防災事項ポータルサイト

<https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/notojishinportal.html>

注) 利用にあたって

- 資料は速報であり後日の調査により変更されることがあります。
- 新潟県内で震度 1 以上を観測した地震の一覧表の震度は、県内のみを記述しています。
また、最大震度は、県内または県外での値を記述しています。
- 気象庁では地震の震源、マグニチュード等を算出するにあたり、国立大学法人などの関係機関から地震観測データの提供を受け (注 1)、文部科学省と協力して処理を行っています。
また、震度の情報は、地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供された観測データを含めて発表しています。

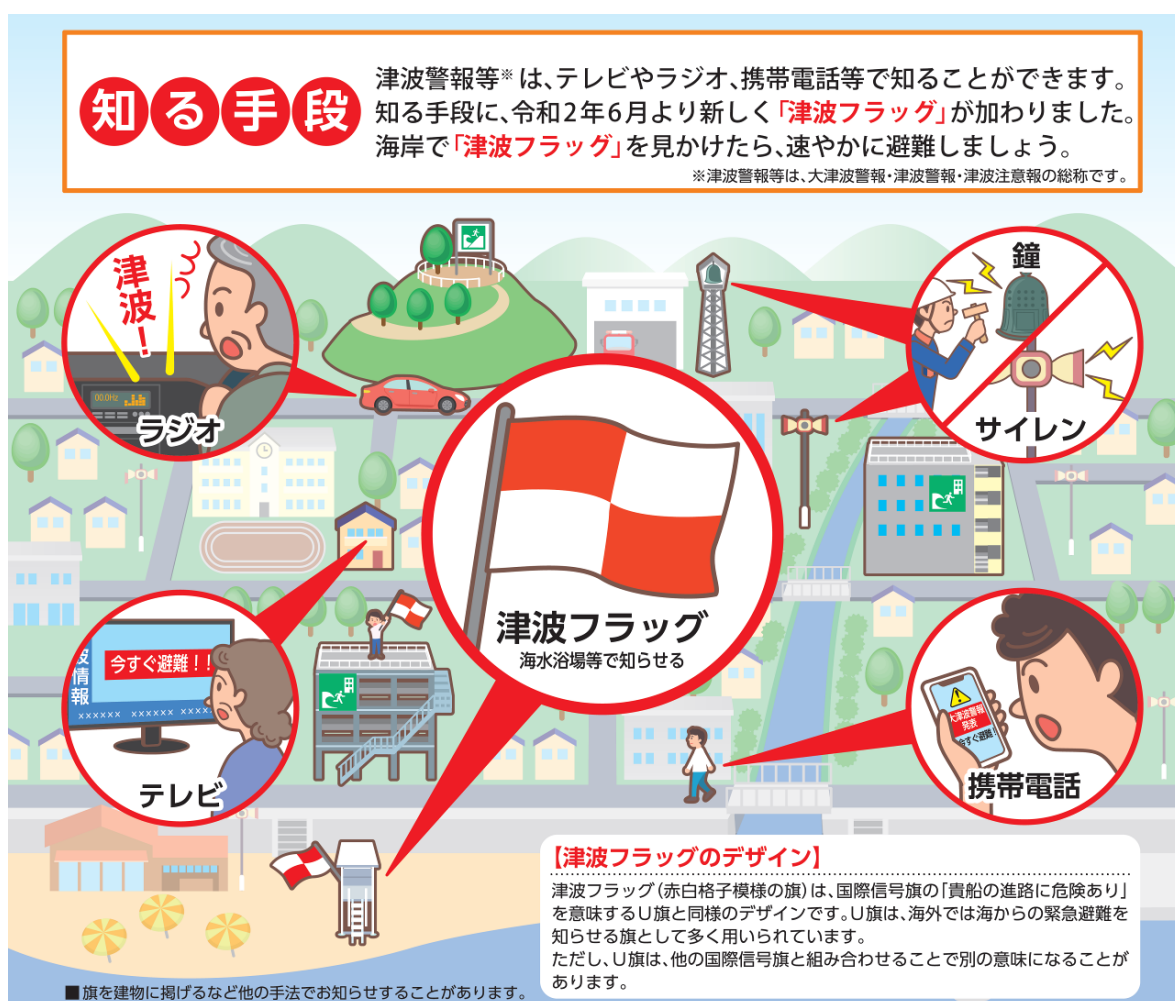
(注 1) 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座)、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点 (よしが浦温泉、飯田小学校)、EarthScope Consortium の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成しています。

- この地震概況は新潟地方気象台ホームページの地震解説資料・地震概況のページに掲載しています。
https://www.data.jma.go.jp/niigata/jishin/jishin_kaisetu_index.html
- 資料についての問い合わせ先：新潟地方気象台電話：025-281-5872

津波フラッグは避難の合図

「津波フラッグ」は大津波警報、津波警報、津波注意報（以下「津波警報等」という）が発表されたことをお知らせする旗です。

津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘等、様々な手段で伝達されますが、令和2年6月から海水浴場等で「津波フラッグ」による視覚的伝達が行われています。「津波フラッグ」を用いることで、聴覚に障害をお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできます。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。



○津波フラッグ導入の背景

平成23年の東日本大震災では、岩手県、宮城県及び福島県における聴覚障害者の死亡率が、聴覚障害のない者の2倍にのぼったとのデータがあり、津波警報等の視覚による伝達のあり方が検討され、導入されました。

○詳細は「津波フラッグ」のページ（気象庁HP）をご覧ください。

https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html